

TOKYO report

宮崎県東京事務所 2018Vol.49

～このレポートでは、首都圏における宮崎の動きや東京事務所の活動を中心にお知らせします～

台湾人向けプロモーションを開催しました！【観光・物産PR】



首都圏在住の台湾人に向けて、宮崎県の食・文化・観光の魅力
をPRするプロモーションイベントを開催しました。

会場には、東京在住の台湾人11名にご来場いただき、宮崎県
の観光地・アクティビティ・物産などを紹介し、ヒアリングを実施。

チキン南蛮や冷や汁など宮崎県産食材、飲料を実際に味わっ
てもらいながら意見交換を行いました。

今回いただいたご意見やアンケート結果を今後の台湾向けプロ
モーションに活かして、宮崎の認知度向上、ファンの獲得、誘客
に繋げていきたいと思ひます。



宮崎県東京事務所は、千代田区平河町の都道府県会館15階にあり、官公庁等との連絡調整・農林水産物等のPR・観光PR・企業立地促進・就職相談・移住の促進などの業務を行っています。

情報誌、パンフレット等も多数取りそろえていますので、気軽にお立ち寄りください！

15階ここです！



本県と包括連携協定を締結している三菱地所株式会社とのコラボレーション企画として、新丸ビル7階の飲食店ゾーン「丸の内ハウス」において、ひなたの恵みをお届けするイベントを開催しました！

約1ヶ月にわたり宮崎県の食材を使用したスペシャルメニュー9店舗約36種の提供が行われました。

主催：宮崎県、丸の内ハウス(三菱地所株式会社) 協力：エコツェリア協会、Discover Japan

提供食材：宮崎牛、宮崎きれいポーク、みやざき地頭鶏、チョウザメ、しまうら真鯛、マンゴー、へべす等々

7/24(火)3×3Lab Futureイベント



國學院大學平藤教授によるみやざき神話セミナーと「HOUSE JOURNEY JAPAN」で提供される宮崎食材メニューを楽しめる交流会を開催

7/25(水)～8/26(日)丸の内ハウス宮崎食材フェア



丸の内ハウス「現バー」ランチメニューで提供された「みやざき地頭鶏カレー」と、エレベーターホールに登場した青島神社の結びこより

8/22(水)世界農業遺産・高千穂郷ワークショップ



2015年に世界農業遺産(GIAHS)に認定された高千穂郷地域の伝統文化セミナーと、「彫り物(えりもの)」作成ワークショップを開催(主催：高千穂町、高千穂町観光協会)

日本の美味しいものに会おう旅

HOUSE JOURNEY JAPAN

VOL.2 宮崎 / MIYAZAKI 2018.7.25 [Wed] - 8.26 [Sun]
in (marunouchi) HOUSE (丸の内ビル7F)

神話の源流、肉の聖地、宮崎。

主催：宮崎県 (marunouchi) HOUSE 協力：エコツェリア協会、Discover Japan

「Odyssey Japan」食のイベントで宮崎をPR 【観光・物産PR】

8月23日(木) 八芳園(港区)

ANA総合研究所主催で行われた在日外国人(約100名)向けのイベントにおいて、宮崎県の食と観光のPRを行いました。(秋田県庄内、福島県会津、鳥取県、佐賀県との合同PR)

本県からは、ブースやステージでのPRに加え、宮崎牛、完熟マンゴー、へべす、本格焼酎(杜氏潤平)など本県の豊かな食材による料理等を振る舞いました。



左上：日本酒の鏡割りで開宴！

右上：来場者は在日外国人。大人から子どもまで、各地自慢の食材を堪能！

左下：宮崎牛は、肉そのもののを味わっていただくため、味付けは「塩」のみで提供！



右下：各地のキャラや衣装でPR！みやざき犬「かぁくん」は、外国の方にも大人気でした！

「宮崎の本格焼酎と郷土料理を楽しむ会」開催 【観光・物産PR】

9月28日(金) ホテルグランドパレス(飯田橋)

宮崎県在京経営者会議主催による「第17回 宮崎の本格焼酎と郷土料理を楽しむ会」が、東京飯田橋のホテルグランドパレスで開催されました。



「宮崎牛のステーキ」をはじめ、宮崎の食材を使った様々な料理が提供されました。

いつか、スタッフではなく、お客として参加してみたい!



会場には、約450名の来場者にご来場いただきました。宮崎の美味しい焼酎やお料理をさかんに、思い思いに贅沢な時間を過ごされていました。



焼酎蔵元の方々との会話もこのイベントの醍醐味です。杜氏や蔵元の方から焼酎造りへの想いやこだわりを聴きながら、おすすめの飲み方で味わう焼酎は格別!

「ご当地キャラ成田詣」でかあくんが国際交流! 【観光PR】

9月16日(日) 成田山新勝寺、表参道(成田市)

成田市で開催された「ご当地キャラ成田詣～門前町deキャラフェス」に、みやざき犬「かあくん」が参加し、ステージでダンスを披露しました。

オープニングセレモニーでは、宮崎県、千葉県と友好交流協定を締結している桃園市(台湾)のご当地キャラ「園くん」も一緒に記念撮影! 「かあくん」が国際交流の大役を果たしてくれました!



左から、チーバくん(千葉県)、みやざき犬「かあくん」、園くん(桃園市)、うなりくん(成田市)



ステージの「かあくん」



成田空港と宮崎を結ぶジェットスターのPRブースも!

ツーリズムEXPOジャパン2018で 「焼酎ノンジョルノ観光」PR

【観光PR】

9月20日(木)～9月23日(日)東京ビッグサイト

今年のツーリズムEXPOは、「焼酎ノンジョルノ観光」をテーマにPR。バーカウンターには、生産量日本一の宮崎本格焼酎がズラリ！来場者には試飲で宮崎本格焼酎を楽しんでいただきました！その他、日南市鵜戸神宮の「運玉投げ体験」や「カツオー一本釣り体験」、神楽展示など、日南市南郷商工会議所、小林まちづくり株式会社、各酒蔵の方々と一緒にオールみやざきでPRしました！



新宿みやざき館KONNEで宮崎県産新米フェア

【物産PR】

8月9日(木)～8月19日(日) 新宿みやざき館KONNE(新宿)

8月9日(木)～8月12日(日)の4日間、KONNE1階のイベントスペースで新米試食販売が行われました。食の宝庫「宮崎の新米」に合うお漬物、おかずもPR！

8月19日(日)までの11日間は、KONNE2階の「くわんね」において、ランチタイムに宮崎県産新米を提供しました。

主催：みやざきブランド推進本部
(宮崎県東京事務所、経済連
東京営業所)

協力：JA宮崎経済連米穀特産課、
ミヤベイ直販



「宮崎本格焼酎」と「へべす」で川崎の夜をハシゴシナイト！ 【物産PR】

8月22日(水)～8月23日(木) 川崎駅前仲見世商店街(川崎市)

川崎市内商店街の飲食店(33店舗)の中から4軒をチケット(当日3千円)で巡る「ハシゴシナイト」が開催されました。「宮崎本格焼酎」と「へべす」が各店舗で提供され、原料・味わい共にバラエティ豊かな本格焼酎と、爽やかで程よい酸味のへべすのおいしさを、首都圏の方に味わっていただきました。



いつも取り扱っているお店はもちろん、普段、焼酎を取り扱っていないお店でも「宮崎本格焼酎」と「へべす」を提供していただきました！



【宮崎県と川崎市の基本協定(崎×崎連携協定)に基づく取組について】

森林・農業県である宮崎県と、人口150万人の川崎市が、お互いの持つ資源や特性、強みを活かしながら連携・協力し、互いの地域の活性化及び持続的成長に向けた取組を推進するため、平成26年11月7日に基本協定を締結しました。

その協定に基づき、川崎市における、宮崎県産材を活用した公共建築物の木質化の推進などの取組が進められています。

「ハシゴシナイト」でのコラボも、「崎×崎連携協定」をきっかけに始まった取組のひとつです。

広島県、岡山県及び愛媛県への災害見舞金の贈呈 【行政】

8月7日(火)、8月10日(金) 都道府県会館ほか

平成30年7月豪雨により甚大な被害が発生した広島県、岡山県及び愛媛県に、宮崎県知事及び宮崎県議会の連名で見舞金を贈呈しました。(宮崎県東京事務所長から各県東京事務所長に目録と見舞状を贈呈。)

被災者の皆様の生活再建と被災地の復興が一日も早く進みますようお祈り申し上げます。

【贈呈日時及び贈呈場所】

- 平成30年8月7日(火)
 - 岡山県東京事務所(都道府県会館)
 - 広島県東京事務所(虎ノ門琴平タワー)
- 平成30年8月10日(金)
 - 愛媛県東京事務所(都道府県会館)

写真は、広島県東京事務所での贈呈の様子(写真右が宮崎県東京事務所の渡邊所長)



平成30年8月から平成30年9月において、東京事務所管内から次の企業が立地しました。

GMOCOMARS株式会社(情報サービス産業:宮崎市)[新設]

EC・O2O事業者向け支援事業、インターネット広告運用事業を行うGMOCOMARS株式会社(本社:東京都渋谷区)が宮崎市に事業所を新設します。平成34年度までに35名の新規雇用を予定しています。

企業HP: <https://www.gmo-c.jp>

株式会社グラスト(情報サービス産業:宮崎市)[新設]

人材派遣業、人材紹介業、採用コンサルティング事業を行う株式会社グラスト(本社:東京都渋谷区)が宮崎市に事業所を新設します。平成32年度までに50名の新規雇用を予定しています。

企業HP: <https://www.grust.co.jp>

編集後記

大混雑する鉄道の駅や交差点、イベントなどに並ぶ行列は、東京では日常の風景です。人、人、人で、ここにいると、日本で人口減少が進行しているという実感がなくなってしまいそうです。芸術・文化施設や大学が集中し、超高層ビルが建ち並び、大きなビルになると4千人以上を超える人々が働き、このビル一つで、地方の町村と同じ位の人口かぁ、などと思いながら、街を歩くことがあります。

現在、東京オリンピック・パラリンピックを照準に、多くのホテルが建設され、高層タワーマンションの建設や、大規模再開発もあちこちで進んでいます。各種インフラが益々充実し、東京の工業地帯・市街地では、建設クレーンが見えないところを探すのに苦労するような状況です。今年の4月から東京に住んで、富と人の集中を改めて実感させられている、というのが素直な感想です。

東京オリ・パラの開催はとてつもなくうれしいことですが、一方、東京と地方の格差がまた開いてしまうのではないかと、とも心配になります。地方から人材を吸収し続け、そして地方が疲弊し、地方からの流入がなくなった時には、都市も終焉を迎えることになる、理解はしていても、この一極集中の動きをなかなか止められません。

しかし、嘆いているだけでは事態は一向に改善しません。冷静に状況を分析し、なんとか発想の転換をして、人口の動きを逆回転させていかなばなりません。宮崎の優秀な人材、豊富な食材、温暖な気候、古から育まれた自然、伝統・文化など、宮崎にしかないものを磨き、魅力付けしながら、考え得る限りの施策を総動員していく必要があります。地方の人は地方で活用し、そして、都会におられ、故郷のために尽くしたいと考えておられる多くの方々との絆を強め、力をいただきながら、全国から「宮崎」に目を向けてもらえるよう、努力を続けていきます。

これからも、宮崎でしか体験できない宮崎ならではの素晴らしさを都市圏に発信していきます。皆様、おひとり、おひとりが宮崎の応援団です。一層の御理解と御協力をいただきますようお願いいたします。



宮崎県東京事務所
〒102-0093
東京都千代田区平河町2-6-3
都道府県会館 15階
(tel) 03-5212-9007 / (fax) 03-5215-5180



←宮崎県は本格焼酎出荷量と売上高が日本一！
全国和牛能力共進会3大会連続内閣総理大臣賞受賞→